考 査 項 目 別 運 用 表（完成・指定部分完成・部分払）/土木検査用(土木電気設備工事)

別紙1土検(電気)

考査項目	細 別	対象	該当	a		b		c	d	e
				優れている		良好である		適切である	やや不適切である	不適切である
施工状況	施工管理									
		□	□	契約書第18条第1項第1号から第5号に基づく設計図書の照査結果を行い，施工がなされている。						
	評価	□	□	現場施工方法が施工計画書と一致している。						
		□	□	工事材料等の資料の整理及び確認がなされ，適切に管理されている。						
		□	□	品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。						
		□	□	見本又は工事写真等の整理に工夫がみられる。						
		□	□	立合確認等の手続きを事前に行っており，適時，的確に実施されている。						
		□	□	工事記録の整備が適時，的確になされている。						
		□	□	建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが，適切に行なされている。						
		□	□	建退共の証紙が適切に配布され管理されている。						
		□	□	作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。						
		□	□	計画内容に変更が生じた場合は，その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している。						
		□	□	施工体制台帳，施工体系図が整備されている。						
		□	□	現場の施工体制が施工計画書に記載されている内容と一致している。						
		□	□	社内の品質証明体制が確立され，有効に機能いている。						
		□	□	施工計画書に必要項目が記載されているとともに，設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。						
		□	□	工事の関係書類及び提出書類の資料整理がよい。						
		□	□	社内の出来形管理基準及び品質管理基準が作成され管理している。						
		□	□	その他(理由：　　)						

(減点)該当すればd評価とする。

□ 施工管理に関して，監督員から文書による改善指示を行った。

(減点)該当すればe評価とする。

□ 施工管理に関して，監督員から文書による改善指示に従わなかった。

該当項目が90%以上・・・・・・・・・・a
該当項目が80%以上90%未満・・b
該当項目が60%以上80%未満・・c
該当項目が60%未満・・・・・・・・d

①「対象」欄にチェックボックスがある項目は，評価すべき項目の場合にチェックし，評価すべきでない場合は空白のままとする。
②評価値(　%)＝該当評価項目数/対象評価項目数×100
③対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

考査項目	細別	対象	該当	a	a'	b	b'	c	d	e
				特に優れている	優れている	特に良好である	良好である	適切である	やや不適切である	不適切である
出来形及び出来栄え	出来形									
	電気設備	□	□	据付に関する出来高管理が容易に把握できるよう，出来高管理図及び出来高管理表を工夫していることが確認できる。						
	評価	□	□	機器等の測定(試験)結果が，その都度管理図表などに記載され，適切に管理していることが確認できる。						
		□	□	写真管理基準の管理項目を満足している。						
		□	□	不可視部分となる出来形が，写真で確認できる。						
		□	□	設計図書で定められていない出来高管理項目について，監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。						
		□	□	設備全般にわたり，形状，寸法の実績値が許容範囲内であることが確認できる。						
		□	□	設備の据付，固定方法が，設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。						
		□	□	配管及び配線が設計図書又は承諾図書とおり敷設していることが確認できる。						
		□	□	行先などを表示した線名札が，ケーブルなどにわかりやすく取り付けている。						
		□	□	配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗測定等について，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
		□	□	社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。						
		□	□	その他(理由　：　　)						

(減点)該当すればd評価とする。

□ 出来形の管理に関して，監督員が文書で指示を行い改善された。

(減点)該当すればe評価とする。

□ 出来形が不適切であったため，工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査員が行った。

該当項目が90%以上・・・・・・・・・・・a
該当項目が80%以上90%未満・・・a'
該当項目が70%以上80%未満・・・b
該当項目が60%以上70%未満・・・b'
該当項目が50%以上60%未満・・・c

①「対象」欄にチェックボックスがある項目は，評価すべき項目の場合にチェックし，評価すべきでない場合は空白のままとする。
②評価値(　%)＝該当評価項目数/対象評価項目数×100
③対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

考 査 項 目 別 運 用 表（完成・指定部分完成・部分払）/土木検査用（土木電気設備工事）

別紙1土検（電気）

考査項目	細別	対象	該当	a	a’	b	b’	c	d	e
				特に優れている	優れている	特に良好である	良好である	適切である	やや不適切である	不適切である

出来形及び出来栄え

品質

電気設備

評価

対象	該当	
□	□	製作着手前に，品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。
□	□	材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等が確認でき，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
□	□	機器の品質，機能及び性能が設計図書を満足して，成績書にまとまられていることが確認できる。
□	□	操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され，操作性に優れていることが確認できる。
□	□	ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ，不具合が無いことが確認できる。
□	□	設備の性能及び機能が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
□	□	操作制御関係の機能及び性能が，設計図書の仕様を満足していることともに，安全装置及び保護装置の動作確認ができる。
□	□	設備の総合性能が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
□	□	現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において，工場試験などで確認できる。
□	□	設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（改造，更新含む）の場合は，修正又は更新）していることが確認できる。
□	□	完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。
□	□	設備の構造において，点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。
□	□	その他（理由　：　　）

（減点）該当すればd評価とする。

□ 品質の管理に関して，監督員が文書で指示を行い改善された。

（減点）該当すればe評価とする。

□ 品質が不適切であったため，工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査員が行った。

該当項目が90%以上・・・・・・・・・・・a
該当項目が80%以上90%未満・・・a’
該当項目が70%以上80%未満・・・b
該当項目が60%以上70%未満・・・b’
該当項目が60%未満・・・・・・・・・・c

①「対象」欄にチェックボックスがある項目は，評価すべき項目の場合にチェックし，評価すべきでない場合は空白のままとする。
②評価値（　%）＝該当評価項目数/対象評価項目数×100
③対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

考査項目	細別	対象	該当	a		b		c	d	
				優れている		良好である		適切である	劣っている	

出来形及び出来栄え

出来栄え

電気設備

評価

対象	該当	
□	□	きめ細やかな施工がなされている。
□	□	公共物として，安全性の確保，環境及び維持管理等への配慮がなされている。
□	□	動作状態において，電気的及び機械的な異常が無く，総合的な機能及び運用性が良い。
□	□	ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。
□	□	操作性，保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。
□	□	全般的な美観が良い。

（減点）該当すればd評価とする。

□ 出来栄えが劣っている。

該当項目5項目以上・・・・・・・・・・・a
該当項目4項目・・・・・・・・・・・・・・b
該当項目3項目・・・・・・・・・・・・・・c
該当項目が60%未満・・・・・・・・・・d

①「対象」欄にチェックボックスがある項目は，評価すべき項目の場合にチェックし，評価すべきでない場合は空白のままとする。
②評価値（　%）＝該当評価項目数/対象評価項目数×100
③対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

※1．全体的な仕上がり状態，機能を評価する。

※2．出来ばえの評価は，全体的な仕上がり状態，形状，配置及び関連工事との調和，目的物としての機能などについて，観察，計測等により技術的な評価を行う。